



Information

2019.3

Vol. 83

日本気象協会の最新事業のご紹介

Contents1

「新エネ大賞」資源エネルギー庁長官賞の表彰を受けました
～受賞サービス『SYNFOS-solar 1kmメッシュ』をENEX2019アワードコーナーにて紹介～

Contents2

卒FIT世帯の余剰電力買取に関するコンサルティングサービスを開始
～環境省「地域低炭素化推進事業体設置モデル事業」に参画～

Contents3

高速道路の休憩施設向けの映像コンテンツをリニューアル
～雪による交通障害対策やキャスターコメントのLIVE配信などで
ドライバーへの行動変化を促し、高速道路上での運転リスク回避を支援～

Contents4

日本気象協会とスペクティ、映像の「AI解析」による道路管理支援技術を共同開発
～SNSや天気カメラ映像のAI解析を通じ、防災情報のリアルタイム提供を目指す～

Contents5

海運・造船向け気象海象データ「POLARIS」を2019年春からAPI提供開始
～海運・造船分野で利活用可能な「波浪追算データ」などの気象海象データを提供～

Contents6

「トクする！防災」プロジェクト「備蓄のススメ」多言語対応リーフレットを公開

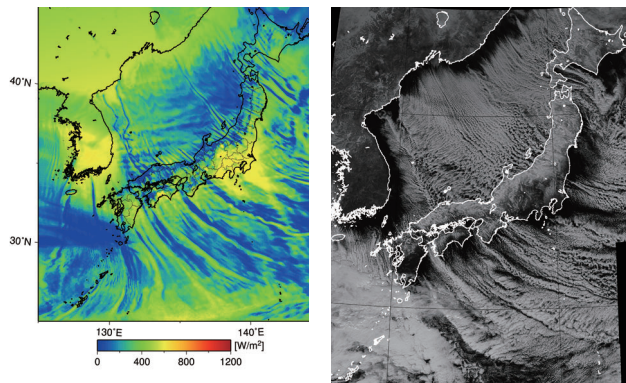


宮城県柴田郡大河原町 白石川堤一目千本桜

「新エネ大賞」資源エネルギー庁長官賞の表彰を受けました ～受賞サービス『SYNFOS-solar 1kmメッシュ』を ENEX2019アワードコーナーにて紹介～

日本気象協会は、2019年1月30日(水)に東京ビッグサイトで開催された、平成30年度「新エネ大賞」の表彰式にて、資源エネルギー庁長官賞の表彰を受けました。

本表彰は、日本気象協会のエリア日射量予測サービス『SYNFOS-solar 1kmメッシュ(しんぷおすそーらー いちきろめっしゅ)』に対するものです。天候に左右されやすい太陽光発電システムの出力変動に対して、精度の高いエリア日射量予測を提供することにより、一般送配電事業者等による安定した電力需給運用に貢献している点が高く評価



受賞対象となったSYNFOS-solar1kmメッシュ



表彰式の様子(東京ビッグサイト・東京都江東区、2019年1月30日撮影)

されました。

また、東京ビッグサイトで2019年1月30日(水)から2月1日(金)まで開催された「ENEX2019 第43回地球環境とエネルギーの調和展」会場内の「アワードコーナー」にて、受賞サービスの紹介を行いました。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

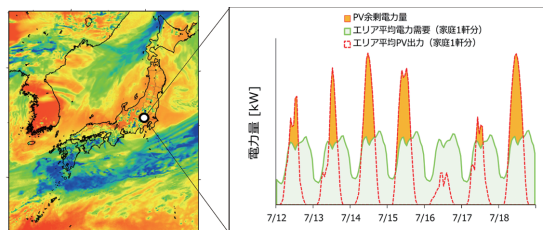
<https://www.jwa.or.jp/news/2019/02/post-001137.html>

卒FIT世帯の余剰電力買取に関するコンサルティングサービスを開始 ～環境省「地域低炭素化推進事業体設置モデル事業」に参画～

日本気象協会は、卒FIT世帯の余剰電力買取に関するコンサルティングサービスを2018年12月から本格的に開始しました。今後、2019年11月までにリソースアグリゲーターや小売電気事業者など数十社へのサービス提供を目指します。

また、「卒FIT世帯の余剰電力買取」に関する取り組みとして、日本気象協会は、環境省が公募した「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金事業(グリーンボンドや地域の資金を活用した低炭素化推進事業のうち地域低炭素化推進事業体設置モデル事業)」に参画しました。本事業では、申請代表者:みやまスマートエネルギー株式会社と、共同実施者:みやまパワーHD株式会社とともに、卒FIT世帯の

余剰電力の予測技術開発に取り組みます。



日射量予測

太陽光発電出力予測 - 電力需要予測 = 余剰電力予測

卒FIT世帯の余剰電力予測イメージ



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2018/12/post-001118.html>

Contents3

2019.02.19発表

高速道路の休憩施設向けの映像コンテンツをリニューアル ～雪による交通障害対策やキャスターコメントのLIVE配信などで ドライバーへの行動変化を促し、高速道路上での運転リスク回避を支援～

日本気象協会は、高速道路や自動車専用道路の休憩施設向け映像コンテンツをリニューアルしました。

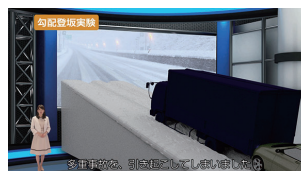
映像コンテンツを通じ、ドライバーに影響がおよぶ高速道路上でのさまざまなケースを、ドライバーの立場になり紹介。ドライバーの行動変化を促し、安全に運転できるような対策の提供と実行支援を行います。

【企画の背景】

日本気象協会が高速道路休憩施設の情報閲覧サービスの閲覧者に対して独自に実施したアンケートにて、「休憩施設のデジタルサイネージで気象情報をご覧になった後、どのような行動をとりましたか？」との質問を行ったところ、以下のような回答を得ました。

A:「どのような気象状況でも何もなかった」
(全体のおよそ4人に1人の割合、23.7%が回答)

日本気象協会ではこのアンケート結果から、地域性を考慮した気象リスクや気象への対応策が「見える化」されている



3 DCGを用いた雪氷交通障害シミュレーション



キャスターの体感コメント付きLIVE配信

コンテンツの提供や、各ドライバーに雪氷路面等の危険性を「自分事」としてとらえていただき、行動変化につながるコンテンツの提供が重要であると考えました。

今回、リスク対策の見える化に加え、行動変化につながるような「雪による交通障害シミュレーション」や「キャスターの体感コメント付きのLIVE配信」映像をコンテンツとして新たに製作します。

これらのコンテンツを利用いただくことで、日本気象協会は高速道路上の防災・減災へ貢献していきたいと考えています。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2019/02/post-001141.html>

Contents4

2019.02.05発表

日本気象協会とスペクティ、映像の「AI解析」による道路管理支援技術を共同開発 ～SNSや天気カメラ映像のAI解析を通じ、防災情報のリアルタイム提供を目指す～

日本気象協会と株式会社Specteelは、SNSや天気カメラなどの映像のAI解析を通じ、防災情報のリアルタイム提供に関する共同開発を行います。

映像のAI解析を通じ得られた防災情報は、道路管理者や自治体など、防災支援情報を欲する事業者へ提供していきます。

冬期の道路や、生活に影響の大きい事象の判別をするための量的情報はこれまで、人の目の判断に頼らざるを得なかったり、高額な計測機器が必要だったりしていました。

今回の共同開発を通じ両社は、映像からのAI解析による「雨雪判別」「積雪状態」「路面状態」「吹雪発生」「視程」などの情報を取得する技術を開発していきます。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2019/02/post-001138.html>

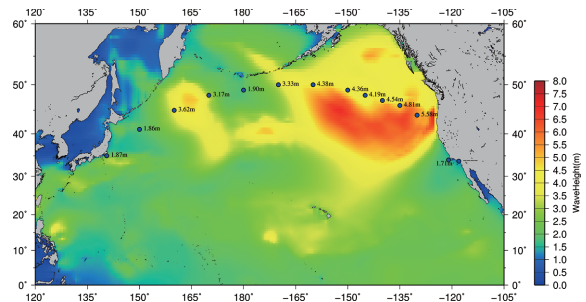
海運・造船向け気象海象データ「POLARIS」を2019年春からAPI提供開始 ～海運・造船分野で利活用可能な「波浪追算データ」などの気象海象データを提供～

日本気象協会は、海運会社や造船所、海事関係の研究機関、船用機器メーカーを対象とした新サービスとして、気象海象データ「POLARIS」(ポラリス)を、API(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)で2019年春から提供します。

「POLARIS」では、船舶の燃費や運航効率の改善に寄与することのできる、地球全球の気象海象(海上風や波浪など)の追算データを取得することができます。正式版サービスの提供に先立ち、2019年3月から、日本国内向け「試用版」サービスの提供を開始しました。

2018年4月に開催された国際海事機関(International Maritime Organization、略称IMO)の第72回海洋環境保護委員会にて、世界で初めて「今世紀中の温室効果ガス(GHG)のゼロ排出を目指すことに合意」がなされました。今後、議論が本格化していくとみられる「GHG削減戦略」にも資するサービスが「POLARIS」です。


「POLARIS」は、地球全球の気象海象(海上風や波浪など)追算データをWeb API経由で取得できる従量課金型の有償サービスです。海上10メートル高度の海上風、波浪(全体)、風浪、うねりの各要素を実績航路や計画航路に紐付けて、最小時間間隔10分、最短距離間隔



【「POLARIS」による航路に紐付けた気象海象データの提供(イメージ)】

約20m(緯度経度0.01分)にて入手することが可能です。入手したデータにより、実海域中の船舶推進性能の推定や、船体などの性能変化の状態評価、燃費やCO₂排出量などの分析算定に利用できます。


「POLARIS」は、Precise Ocean data LibRARY and Intelligent Serviceの略称です。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。
<https://www.jwa.or.jp/news/2018/12/post-001115.html>

「トクする！防災」プロジェクト「備蓄のススメ」多言語対応リーフレットを公開

日本気象協会が推進する「トクする！防災」プロジェクトは、日本在住の外国人のかた向けの防災啓発コンテンツ「備蓄のススメ」リーフレットの英語、中国語簡体字、中国語繁体字を2019年1月16日(水)に公開しました。本コンテンツは「トクする！防災」プロジェクトの公式サイトから無料でダウンロードできます。



◆トクする！防災「備蓄のススメ」
<https://tokusuru-bosai.jp/stock/stock08-en.html>
 ページ内のボタンから「英語」「中国語簡体字」「中国語繁体字」リーフレットのダウンロードができます。



「備蓄のススメ」リーフレット イメージ